

教育のために活用してください

福岡県在住の男性から小中一貫校建設に寄附



▲寄附を渡す南里陽一郎さん

福岡県在住の南里陽一郎さんが11月10日、小中一貫校の建設に役立てて欲しいと、100万円の寄附を横尾市長に手渡されました。

南里さんは、35年程前に泉町に住まれていたこと、(仮称)中央小・中学校グラウンドの敷地の地権者で、「子どもたちの教育のためなら、ぜひ活用してほしい」と快く土地を譲っていただいたご縁で、寄附をいただくことになりました。

「人生は積極あるのみ。前向きに当たって砕けろの精神で生きています」と、今までの人生を語られる南里さんは、「長命」が目標で毎日を楽しく元気に過ごし、果樹や野菜作りが趣味。「人とのつながりを大切にしたい」とも言われ、離れていても多久のことを忘れず応援していただきました。

年齢を問わず論語を楽しみました

第17回多久市論語カルタ大会

多久市論語カルタ大会が11月20日、西溪中学校学校体育館で行われました。今回は保育園児から大人まで、市内外から157人が参加。中川正博教育長は「論語は生きていくうえで大切なメッセージが込められています。論語を好きになり、この大会を楽しんでください」と参加者を激励しました。年々、参加者のレベルが上がっており、上の句を読み上げられるやいなや「ハイ！」と素早くカルタを取り、白熱した試合が繰り広げられました。

各部の優勝者は次のとおりです。(敬称略)

幼稚園・保育園＝中野カイリ (こばと保育園)

1 学年＝溝口滉歩 (緑が丘小)

2 学年＝外尾直也 (緑が丘小)

3 学年＝土橋周平 (北部小)

4 学年＝笹川心美 (南部小)

5 学年＝井上善樹 (東部小)

6 学年＝小野超 (北部小)

中学生＝佐々木瑛里菜 (西溪中)

一般＝井上法子 (東多久町)



▲元気よくカルタを取る小学生

「多久市教育の日」 「異校種間TT授業」を実施!

子どもたちの教育を考え、日頃の教育実践を保護者や地域の方に参観していただくための『多久市教育の日』に、市内全小中学校で授業参観を実施し、異校種間TT授業(小中学校の先生と一緒に授業)が行われました。午後は中央中学校区で「学力向上研究発表会」も開催。北部小では外国語活動を行い、子どもたちが楽しんで英語を学んでいました。日曜日とあって、多くの保護者の参観がありました。



11/13

茂文公を偲んでシンポジウム

多久聖廟を創建した多久茂文公没後300年を記念したシンポジウムが東原庫舎で開かれました。細川章さんによる基調講演『茂文公の生涯』では、茂文公の聖廟建設への情熱を知ることができました。

横尾市長、佐賀城本丸歴史館杉谷昭館長、生馬寛信佐賀大学名誉教授、孔子の里論語講師武田耕一さん、細川さんによるシンポジウムでは、「文廟記」に書かれた思いを知り、茂文公が聖廟に託された熱い思いを未来に繋げていくことが大切とそれぞれの立場で語りました。



10/29